

社会実験報告：9月15日～18日（16日、17日は台風により中止）

本実験は、長門湯本温泉の将来像と課題を地域内外で共有し、よりよい地域経営に向けた検証と改善を行うことを目的とする初めての取り組みです。①河川空間の活用、②夜間景観の演出、③交通機能再編による空間活用を実験的に実施することで長門湯本温泉の未来を体感することができました。約800メートルの温泉街一帯で、親子連れや女性を中心に、親水性の高い音信川遊歩道や広く取られた歩行空間でのそぞろ歩きを楽しんでいました。

1 河川空間の使いこなし

2 交通再編と道路空間プレイスメイキング（公共空間の場づくり）実験内容

●地元の事業者による河川空間・川床の活用



音信川のせせらぎを間近にワークショップを楽しむ 将来常設を目指す「川床」を期間限定で開放

●屋台、マルシェ、ワークショップなどの開催による賑わい



駐車場を賑わいの広場に



作家自らが教える萩焼ワークショップでの文化体験

●交通規制により、道路空間を一時的に活用



音信川沿いの道路上に設けられた体験や休憩のための空間

●歩行者空間化やワークショップ開催への活用



3. 夜間照明・夜のそぞろ歩き実験内容

検証（１） 川床の照明手法の検討（夜間運用に対する方策）

→長門湯本ならではの景観の創出、事業者が夕方から夜間にかけて川床運用ができる手法の見極め



（２） 公共エリアの整備・方向性と方策の検討

A：ランドマークやビューの創出 B：安全安心の確保

→各種照明手法の効果を確認し、長門湯本照明マスタープランへの反映
長門湯本夜間景観形成・実施計画への反映、必要な照明効果を洗い出し、
温泉街全体のエネルギーコントロール計画立案へつなげる



（３） 民間主導による夜間景観魅力の向上策検討

→地元事業者や住民の参加による、長門湯本らしい魅力的な景観形成
ガイドラインへの反映





夜間照明・夜のそぞろ歩きの様子

夜間照明の視察

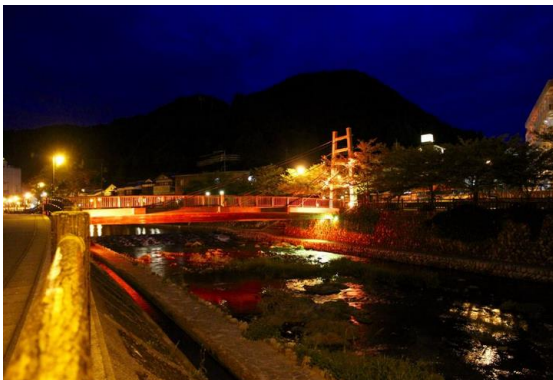
社会実験の照明デザインを担当した照明デザイナーの長町 志穂さん（LEM空間工房）よりコンセプトの説明を受け、大西市長とともに今後の夜間景観の演出に関する方針を確認しました。長門湯本観光まちづくり計画のデザイン会議メンバーでもある長町さんは、地元の方と何度も協議を重ねながら、少しずつ照明改善を進めています。



音信川を眺めながら活用イメージを確認

河川空間の運用を確認

夜間照明とともに、社会実験の柱のひとつである音信川の河川空間の活用について、デザイン会議の司令塔である泉英明さん（有限会社ハートビートプラン）と実際の運用を確認しました。



湯本温泉街せせらぎ橋のライトアップ

古いものを照らす

新しいものをより魅力的にするだけでなく、既存建物を演出し古いものを再生する力も照明にはあることを確認しました。



川床のライトアップ

新しいものをより魅力的に

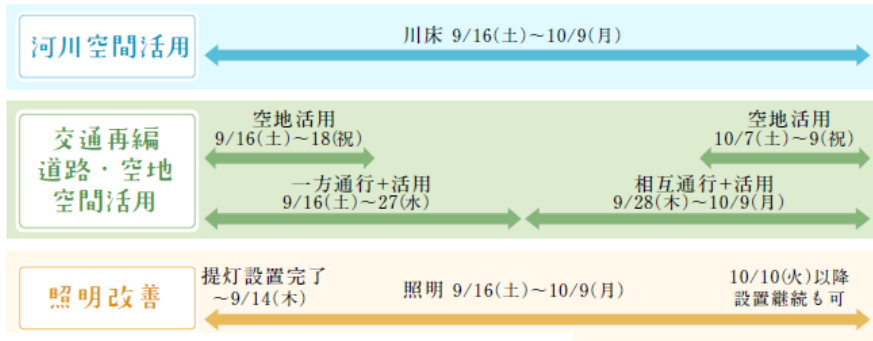
川床もライトアップされ足元の幻想的な照明が落ち着きながらも非日常的な雰囲気を出しました。

IT技術を生かし、時間帯や人通りなどによって照明をコントロールすることで、美しい景観と省エネを両立させた“本物のスマートシティ”へのチャレンジや、樹木の間接照明により歩行者の足元を照らすなど、技術的な仕掛けも隠れた楽しみの一つです。

社会実験概要

長門湯本温泉観光まちづくり計画にもとづき進行中の温泉街のリノベーションにあたり、これからの民間事業者の事業機会をつくり出し、整備後に生まれる公共空間の活用や交通計画の再編、温泉地の景観を向上させる照明や建物の開き方など、エリアの魅力アップに寄与する取り組みを現時点から段階的に実施し、将来像と課題を地域内外で共有するとともに、よりよい地域経営にむけた検証・改善を行うことを目的とします。

社会実験実施スケジュール



検証項目

- ① 観光資源としての河川活用促進のための川床の設置・運営の検証
- ② そぞろ歩きをしやすくする人中心の交通機能再編に伴う影響の検証
- ③ 官民連携した照明計画による温泉地景観の向上の検証
- ④ 空地活用事業の検証

エリアの魅力向上のための試行

河川空間の活用

交通再編による道路・空地空間活用

照明改善

照明改善

◆温泉街の公共及び民間の照明の色などを変更し、夜にそぞろ歩きをしなくなる雰囲気を検証する社会実験です。

① 川床を演出する灯り

設置された川床を演出するための灯りを設置します。

- ・ソーラー行灯、掛け提灯、手揚げ提灯（移動式）
- ・ハイボールスポットライト等外側から（公共）
- ・水中照明等河川内設置（常設）



② 公共エリアの改善

道路や橋などの公共空間の照明の改善を行います。

- ・重要な公共景観資源のライトアップ（千代橋、せせらぎ橋、アーチ等）
- ・足湯からのビューの探索（街路樹ライトアップ、石垣演出等）

③ みんなでつくる灯り

軒先に共通の照明を設置するなど、住民や商店側で協力して灯りの演出を行います。

- ・軒先への「長門提灯」の設置（共通のデザインなど検討）
- ・旅館や店舗などの照明改修、色温度改善
- ・住吉神社への照明設置（参道・境内）



湯本・門前・三ノ瀬の3つの地区とそこを流れる宮川をイメージしたデザインの提灯です。

河川空間活用

◆2種類の川床を事務局側で設置しそれを各事業者で活用して頂く公募事業です。

① 河川数での川床運営

河川敷に設置された3m×3m程度の川床を活用する実験です。



② 道路レベルでの置き座の設置

道路から突き出す形で設置された6m×5m程度の置き座を活用する実験です。



交通再編道路・空地の空間活用

◆一方通行化もしくは人の空間化された空間や温泉街の空地などを使ってプログラムを実施する公募事業です。

① 居心地エリアの設置

テーブルセットや植栽などを設置し、川沿いに居心地の良い空間をつくる実験です。



② 店舗エリアの設置

飲食やクラフト、体験教室などの店舗が出店し、まちの賑わいをつくる実験です。



おとずれリバーフェスタMAP

🍴 フード、ドリンク 🛒 雑貨販売 🛠️ ワークショップ 🎵 ライブ

あおぞらフードコート

開催時間 15:00～21:00

開催時間 12:00～21:00

出店日時は各店舗で異なりますので、下記にお確かめください。また店舗によっては売切れ等の理由により、早めに閉店する場合があります。予めご了承ください。

～薪焼きピッツアや自家焙煎コーヒー等のこだわりグルメから家具職人や陶芸家などのワークショップ、手作り雑貨も集合～

臨時駐車場① ①大谷山荘前 ②意満地前 ③川辺のカフェ前 ④玉仙閣前 (裏面地図をご参照ください)

臨時駐車場②

橋の上レストラン

- La Ceiba 9/16 (17-21時)
- La Tierra 10/9 (17-21時)

お車で越しの方へ
イベントエリア内に駐車場はありませんので、必ず指定の臨時駐車場をご利用ください。また期間限定で一方通行となる箇所もございますので予めご了承ください。

川辺のライブ&トーク

- ハンマーダグマシー生演奏 (趣味 曲)
- 9/17.18, 10/8, 9/17 (17時, 19時)
- ながトーク vol.06 (ゲスト塩澤あみ)
- 10/9 (19時～)

川沿いカフェ & バー

- cafe&pottery 9/16-18, 10/7-9 (11-21時)
- 森越深川 陶芸体験 9/17.18 (13-18時)
- THE BAR OSAKA 10/7-9 (17-翌1時)

せせらぎスクール

- みんなの教室ワークショップ 9/17.18 (14-19時)

ものづくりワークショップ

- Patra cafe 9/17.18 (15-21時), 10/8, 9 (12-19時)
- フムガお台所 9/16 (15-21時), 10/7 (12-19時)
- POTATO MEGANE 9/16.17 (15-19時), 10/7 (12-19時)
- 中原木材工業 9/16-18 (15-21時)
- つつみ舎 9/18 (15-21時)
- Akiko Okajima 10/8, 9 (12-19時)
- macaron うさぎ 9/16-18 (15-21時), 10/7, 8 (12-19時)
- 尾崎 真吾 9/17.18 (15-21時), 10/7, 9 (12-19時)
- なにかとつのかからだかぎり 9/16-18 (15-21時)
- ムクロジ木器 10/7 (15-21時), 8 (12-19時)

出店者のご紹介

【ワークショップについて】一部のワークショップは有料となります。詳細はホームページまたはフェイスブックにてご確認ください。
【出店日時について】出店日時は各店舗で異なります。また店舗によっては売り切れ等の理由により早めに閉店する場合がございます。
【内容の変更について】天候等のやむを得ない理由により当日の内容は変更になる場合があります。最新情報はフェイスブックまたは事務局にてご確認ください。

用語説明

・長門湯本温泉マスタープラン：

2016年1月～6月に長門市からの委託により星野リゾートが策定したもので、長門湯本に住まわれる住民の皆様や旅館協同組合の皆様など地域の方のご意見を聴取することからはじまり、代表の星野が中間報告・最終報告を行って地域との合意形成を進めたものです。「全国温泉地ランキングTOP10」入りを目指すための戦略として、全国の温泉地を分析したうえで、「自然を生かした魅力的な温泉街を持つ温泉地」を目指すべく、このためには長門湯本の地形や観光資源などで魅力的な温泉街に必要な6つの要素「外湯」「食べ歩き」「文化体験」「回遊性」「絵になる場所」「休む佇む空間」を表現し土地の魅力を最大化できるようリノベーションを提案しました。

・長門湯本温泉観光まちづくり計画～地域のタカラ、地域のチカラで湯ノベーション～：

星野リゾートの温泉旅館ブランド「界」を2019年末に開業することが決定しています。本計画は、魅力ある温泉街の形成に向け、市民の意見を踏まえて星野リゾートとともにまとめたマスタープランをベースに、2016年8月に長門市が策定した計画です。「全国温泉地ランキングTOP10」入りの実現に向けた計画の推進を図るため、具体的な提案を行う「デザイン会議」、代表の星野が参画する意思決定機関である「推進会議」を立ち上げ、この推進体制のもと2017年5月から本格的に計画が始動しています。

・長門湯本みらいプロジェクト：

2017年春からスタートした「長門湯本みらいプロジェクト」は、より良い未来に向けて温泉街のリノベーションを進めるために、社会実験、住民説明会、ワークショップ、イベントなど様々な活動の企画、運営、サポート、情報発信を行う市民参加型プロジェクトであり、地域の若手が主導しています。

・おとずれリバーフェスタ：

これから数年かけて大きく変わろうとしている長門湯本温泉を舞台に、ここに遊びに来る人、住む人、働く人が、楽しく豊かな時を過ごせるよう、未来の温泉街をイメージして体感する「長門湯本みらいプロジェクト」の一環としての取り組みです。初めての今年は、普段自由に使うことのできない川や道路を使いこなし、よりすぐりの飲食店やワークショップ、物販など様々なワクワクを演出するイベントを開催しています (次回開催：10月7～9日)